



理念

何か世の為 人の為

青雲だより

2010

11月号

vol.42



4 階 414号室横

(画：H.Kawaida)

新任医師紹介

眼科 有村 昇



こちらに赴任させて頂いて1ヵ月が過ぎようとしております。若輩者の自分の診療で患者さんの信頼を獲得できるものか、なんとかそれを築いてみせようという努力を真摯に続けること以外にはない、そうして個人的な成長を、わずかながらでも成し得ることができればそれ以上に素晴らしいことはないと考え、毎日の診療にあたっています。

赴任しての当院の印象を一言で言うならば、「高潔な病院」。高潔であろうとする姿勢は、人として、組織として、最も理想的、そうなれたら死んでも良いと思うくらいの褒め言葉だと思っています。当院の澄んだ空気と明るい活気に満ちた雰囲気は他の病院にはないものだということ、様々な病院に向く機会のある大学所属の医師として、異動することのない院内の職員の皆さん、また当院以外の病院にかかることのない患者さん達にもぜひ知って頂きたいと思います。

毎週の朝礼で理事長先生、院長先生のお話がありますが、医療人として、また一個人としていかに生きるか、示唆に富むお話が毎週聞けることは予期せぬ機会でした。

医療機関における接遇など、当院が全国的にも進んだ取り組みを積極的に行っている、より高みを目指している病院であることを理解した1ヵ月、個人的にも高みを目指そうと思えた1ヵ月。来年の今頃は何を想うか、それはわかりませんが、その時のためにできることを毎日がんばろうと思える環境に大変有難く感じております。これからしばらく宜しくお願い致します。

所属長★エッセイリレー

リハビリテーション科長 前田 昭宏

近頃、朝晩に寒さを感じるようになりました。今年が異常な猛暑だったことを忘れてしまいそうです。最近考えさせられることがありました。教育の件です。

患者さんは見ず知らずの私たちに身体をあずけ、触れることを許し、痛いことをしても耐えてくれます。他の部署では、身体にメスを入れ、針を刺します。病院の空間では、日常生活や、常識では考えられないことが行われています。それを、患者さんは許してくれます。そのような心理状態になるのはなぜでしょうか。そうです、私たちは医療のスペシャリストだと信じられているからです。私たちの話すこと、治療することに間違いがあるはずがないと…。そこには、信頼もしくは尊敬の念が少なからずとも存在すると私は思っています。だから我々はスペシャリストとして常に勉強をしなければならないはずです。

しかし、それだけではありません。スペシャリストになるには経験が必要です。経験だけは一朝一夕にいきません。どんなに勉強しても解りません。

患者さんが、若い時の私に言ってくれた言葉があります。「私の身体で練習しなさい、頑張りなさい。」よくその言葉に励まされていました。今でも、そのような言葉がリハビリ室の中で聞こえてきます。

患者さんは、言葉には出さなくても、若く、未熟なスタッフにも身体を預けてくれます。それは、私たちに対して奉仕の気持ちが存在しているからだとは私は感じています。

私たち医療の世界では、奉仕の気持ちが必要で、重要です。私たちの奉仕の念は一方的ではなく、患者さんにも我々に対して奉仕の気持ちが存在していること、…それに私たちは気付かなければなりません。互いに奉仕の気持ちを感じとることが、信頼のおける関係を繋げるのです。それが、大切なのです。私たちは、その気持ちに答える為に、スペシャリストとして常に勉強をする。それも、奉仕の気持ちであり、当たり前なのです。

以上のような考えを含めた教育方針のもと、当院のリハビリテーション科では、患者さんの心身が早く良くなるよう日々努力していきます。これからもご指導くださいませ。



朝礼を通じて職員が一致団結

青雲会病院では、昭和55年の川井田病院開設以来30年間継続されている朝礼を、現在も毎週月曜日8時10分に全職員が大会議室に一堂に会し実施しております。病院は24時間稼働しておりますので、職員全員を集めるのは難しいと言われます。しかし青雲会では職員同士で調整し、勤務者以外全員集まり、まずは青雲会理念の唱和に始まり、川井田理事長先生と島内院長先生による医療に関する事はもちろん、接遇に関する事など多種多様な話を聞きます。職員による院外研修報告なども行われ、技術向上に役立てております。その後接遇マニュアルの唱和や笑顔の練習なども取り入れ、全職員で士気を高めております。これからも、患者さんの満足度を高めるべく、質の高い診療と接遇に取り組んで参ります。



理事長のお話



拍手で互いを誉める



マニュアル唱和



ロールプレイング

青雲荘コーナー 通所リハビリテーションおやつレクリエーション

通所リハビリテーションでは毎月おやつレクリエーションを実施しています。目的は利用者の皆様に季節を感じていただくためです。何気ない生活の中で、リハビリに出てきて頂く事で外出の機会を持っていただくと共に、四季の流れを目で見て肌で感じていただくこともケアの一環ではないだろうかと思われ、全スタッフが考え、皆さんに提供できるよう日々取り組んでおります。

夏にはかき氷、梅雨時期には紫陽花菓子、今月は秋ということでおはぎを作りました。来月からは月に4回実施する事が決定いたしました。もっと楽しい、また来たいと思っていただけるような通所リハビリテーションを作っていきたいと思っております。



『第9回 医療法人青雲会 青雲会病院 公開講座』が無事終了しました。

教育委員長 臼井 邦明

第9回公開講座が10月23日(土)始良市始良公民館大ホールにて開催されました。多くの方にご参加いただき誠にありがとうございました。

当院の理学療法科 松尾悟史主任による「脳血管障害片麻痺患者への治療の取り組み」と泌尿器科医師の有馬純一郎先生による「体外衝撃波による腎尿管結石治療」、始良市内には青雲会病院にしかない治療方法の紹介がありました。院外からは、岡山県美星天文台長 綾仁一哉先生をお招きし、「宇宙の中の人間」と題して壮大な宇宙の話をしていただきました。

最後に特別講演として鹿児島大学医学部名誉教授であり、青雲会病院顧問の愛甲 孝先生に「最近の癌治療、認知症ケアの素晴らしい進歩」と題し、人間ドックなどの検診を受診することが大切であることや仮に癌と宣告されても人生をいかに過ごすかという事、認知症についてもご自身の経験も踏まえ講演していただきました。講演内容などご質問がございましたら、職員へお尋ね下さいませ。来年もまた充実した内容になるよう企画して参ります。

外来診療体制一覧表

2010年 11月現在

午 前	月	火	水	木	金	土
外 科	平 田	貴 島	平 田	貴 島	平 田	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】
	有馬(剛)	有馬(剛)	貴 島	有馬(剛)	有馬(剛)	
			前 田			
脳 神 経 外 科	島 内	島 内	島 内	島 内	島 内	
内 科・呼吸器科	川井田	川井田		川井田	川井田	高 塚 【第1、2、4、5診療】
循 環 器 科	福 留	福 留	福 留	福 留	福 留	福 留 【第3診療】
消 化 器 内 科 (内 視 鏡 室)	松 原	松 原	松 原	松 原	松 原	松 原 【第3診療】
	高 塚	野 口	野 口	高 塚	高 塚	野 口 【第1、2、4、5診療】
眼 科	有 村	有 村	有 村		有 村	有 村 【第1、3診療】
泌 尿 器 科	有馬(純)	山 川	有馬(純)	山 川	有馬(純)	有馬(純)/山川 【交替制】
人 工 透 析	山 川	有馬(純)	山 川	有馬(純)	山 川	
整 形 外 科		坂 梨			安 松	
歯 科 口 腔 外 科	守 山	守 山	守 山	守 山	守 山	守 山 【第3診療】
午 後	月	火	水	木	金	土
外 科	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	
			前 田			
循 環 器 科	福 留		田 原	福 留	福 留	
消 化 器 内 科 (内 視 鏡 室)	松 原	松 原	松 原 【第3水曜日のみ休診】	松 原	松 原	
		野 口	野 口			
眼 科	(手術)	有 村	有 村		有 村	
泌 尿 器 科	山 川	有馬(純)	山 川	有馬(純)	山 川	
人 工 透 析	有馬(純)	山 川	有馬(純)	山 川	有馬(純)	
整 形 外 科	坂 梨 15:00より	坂 梨			安 松	
歯 科 口 腔 外 科	守 山	守 山	守 山	守 山 【第1、2、4、5診療】	守 山	

診 療 日：月曜日～土曜日（土曜日は午前中） ※日曜日・祝祭日は休診

受付時間：8：30～12：00 14：00～17：30 ※ただし、急患については常時対応いたします。
※午後の診察は、13：30より受付致します。

脳神経外科は午前中のみ診療となります。

循環器科・歯科口腔外科は予約制となります。眼科は一部予約制となります。

眼科休診日：11/13・18・25・26・27 ※日曜日・祝祭日は休診

※インフルエンザ予防接種 実施中 毎週木曜日14時より16時まで（予約は受付けておりません）

基 本 方 針

- 「何か世の為 人の為」の理念のもとにさらに救急医療を続ける
- 「最期は青雲会病院で」と言われる病院作りを目指す

青雲だより 第42号

発行者：医療法人 青雲会 青雲会病院
広報委員会

〒899-5431 始良市西餅田3011

T E L：0995-66-3080

F A X：0995-66-3057

ホームページ：http://www.minc.ne.jp/seiun/

E-Mail：hospseiun@po.minc.ne.jp

ご意見などございましたら、お気軽にご連絡ください